

## クリオオアブラムシ

クリやミズナラなどの若枝に群生する黒いアブラムシ（幼虫や成虫）。体長最大5mm。成虫の一部は黒い翅（はね）を持つ。



1. 幼虫集団。1999/7/2。美唄市の庭のクリ。

【学名】 *Lachnus tropicalis*

【分類】 カメムシ目（Hemiptera），アブラムシ科（Aphididae）

【分布】 北海道，本州，四国，九州；朝鮮，中国，台湾。

### 【生態】

宿主：クリ，コナラ属（ミズナラ，カシワ，コナラなど）

青枝や小枝に群生する吸汁性昆虫。春から秋の間に繁殖を繰り返し，数世代を経過する。6月頃，有翅の雌成虫が現れ，他の木に移動して繁殖する。晩秋に幹の株元近くに複数の雌成虫が集まって卵をまとめて産む。卵は黒っぽい。卵で越冬する。

発育ステージ	～3月	4	5	6	7	8	9	10	11～	
卵（越冬）	+++	+++	..						..	+++
幼虫・成虫（加害）		..	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	..

### 【被害と防除】

森林では道南のミズナラ幼齢人工林で多発した記録が1例あるにすぎない。普通，防除は必要とされない。

庭などのクリに普通にみられる。クリでは被害により新梢の伸びが悪くなったり，枝枯れを起こすといわれている。

庭などのクリで毎年発生するようであれば，冬に幹上の卵を取り除いて駆除する。

### 【文献】

1977. 奥野孝夫, 田中寛, 木村裕. 原色樹木病害虫図鑑. 保育社, 大阪. (形態, 生態, 防除)
1985. 農林水産省林業試験場北海道支場保護部. 北海道樹木病害虫獣図鑑. 223 pp. 北方林業会, 札幌. (生態, 被害, カラー写真) .
1992. 福山研二, 前藤薫, 東浦康友, 原秀穂. 平成3年度に北海道で発生した森林昆虫. 北方林業, 44:271-274. (ミズナラ造林地での発生記録)
1998. 北海道立林業試験場, 監修. 広葉樹育成ガイド, ミズナラ林の造成技術. 北海道林業改良普及協会, 札幌. (概要)

北海道立林業試験場・緑化樹センター

クリオオアブラムシ [abura/kurioo/  
kaisetu.htm](http://abura/kurioo/kaisetu.htm)

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/2/7.

[musi.JPG](#)

「写真1」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 1999.